

授業に関するアンケート（2017 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
学芸学部国際教養学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
概ね合っていたと考える。新カリキュラム実施に伴う新しい授業では、受講者数が担当者の想定以上に多くなった授業に関しては、やむをえず授業方法を修正しなければいけないケースが生じたケースもあった。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
出席カードの自由記述欄にコメントや質問を記入させたり、スキル科目においては Google Drive へ学生自身が学習記録をインプットしたり、アナライザーを使用して授業の理解度を把握するよう努め、教師と受講者とがコミュニケーションをとる工夫をする授業が多かった。講義科目に関しては、より一層の確認作業が必要な授業もある。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
全体としては、約 9.5 割以上が授業レベルに合っていると答えている。中でもスキル科目は習熟度別にクラスが設置されていることもあり、ほとんどの学生が授業レベルに合っていると感じているが当然のことともいえる。教員も意識して学生のレベルにあった授業を心がけている。さらに努力を促したい。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
講義科目に関しては、教員は極力双方向の授業を意識しているが、より一層の努力が求められるケースがあった。想定以上に受講者数が増えた選択講義科目については特に教師中心の講義形式になりがちで、さらなる努力が必要である。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
各教員によってフィードバックの方法や頻度は異なるが、それぞれ、意識的に努力している。演習科目は評価的には良いが講義科目のフィードバックに関して改善の余地がある科目がある。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
パワーポイントなどの視覚資料を意識的に用いて解説を行うなど、工夫をしている授業に関しては評価も良い。また小テストなども理解度の深化に役立っている授業もある。受講生により評価が異なる授業もあった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
演習科目と講義科目により工夫の方策が異なることが推察されるが、それぞれの授業におい自主学習を促す工夫がなされていると考える。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
○パワーポイントなど、○マナビー、など。 授業で使用するパワーポイント資料をすべてマナビーにアップしてほしいという意見が毎学期少なからず上がる。春秋開講の授業に関してはあえて配信しない場合もあるし、担当教員によっては、パワーポイント資料を学生に配布することで、学生たちが講義中にプリントアウトした資料にばかり目をやってしまいアイコンタクトがとりづらくなるためマナビーへの資料掲載（特に事前掲載）を拒む場合もある。教科書については、反転授業の意図を理解していない学生もいるようであるが、要検討。

(2) この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
30分から1時間の予習リーディングが全体の役1／3であった。前学期に引き続き同くらいの率であるが、授業によつては少し少ないように思う。要検討。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。 ペア活動やグループ活動を常に取り入れている授業が多く、学生が意見を述べやすい環境づくりが整っている授業が多い。質的に高い意見交換ができる工夫をさらに進めていく。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。 全体としては学生は分野または関連分野の学習を進めたいと思っているようである。1、2年次生に関しては本学科では必修科目が多いため、学生の意志や希望と履修状況が関係ない場合も多く、この質問への回答が一概に的を射ているとは限らない。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか(複数選択可)。 上記11でも述べたが、特に1、2年次生は必修科目が多く、その旨回答している学生も多い。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。 授業の冒頭、また各授業中に到達目標を意識するような指導を心がけている教員も複数おり、そのような授業では学生も意識的に授業目標を持っていることがうかがえる。担当者によっては、演習科目よりも講義科目の評点が低いと分析している場合もある。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。 科目により差がある。全体としては、約9割が達成できたと評価している。ポジティブな評価が多い。
15. DWCLA10の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。 受講者により解釈が様々であるが、「思いやる力」を除き、全学平均をどの項目も学科平均が上回っている。特に、「プレゼンテーション力」と「コミュニケーション力」が(多分)有意に上回っているのは学科が目指す学科の特色とも合致している。

(4) その他

必修の授業では、質問事項そのものがそぐわない質問(例えばNo.11やNo.12)もある。
--